

南丹市教育委員会会議録

令和3年第3回臨時会

(令和3年11月8日)

令和3年南丹市教育委員会第3回臨時会会議録

1. 日 時 令和3年11月8日(月)
開会 午後3時10分 閉会 午後3時48分
2. 場 所 日吉町郷土資料館
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二
教育長職務代理者 高屋 毅史
委 員 城戸 貴子
委 員 洲上 真奈美
委 員 前田 好久
6. 欠席委員 なし
7. 事 務 局 教育次長 山内 紀子
教育参事 平井 祐子
教育総務課長 柴田 裕子
学校教育課長 山田 真美
学校教育課参事 芦刈 毅
社会教育課長 浅田 妙子
8. 傍 聴 人 なし

日程1 開会

教育長が令和3年南丹市教育委員会第3回臨時会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に柴田教育総務課長を指名する。

日程3 議事

議案第31号 令和3年度南丹市一般会計補正予算に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について

議案第31号については、南丹市教育委員会会議規則第15条第4号に該当することから非公開とする。併せて、同規則第21条により本議案に関する会議録は非公開とする。

なお、南丹市議会での提案日以降、調整のうえ以下の内容を公開する。

(事務局)

資料に基づき報告

(前田委員)

教育費全体としての増減はどうか。

(事務局)

教育費全体では、増額補正となっている。

(前田委員)

今回の増額補正のほとんどが光熱水費であるが、新型コロナウイルス感染症対策も2年目であり、事前に予測できたのではないか。当初の段階で予測できる分は正当な要求をしてはどうかと思う。

また、年度途中で机等の備品費を増額する理由は。

(事務局)

備品費について、傷みの激しい机を使っていたが、新学期に間に合うように揃えたい。

光熱水費については、予算要求時にコロナ以前の通常の見積もりをし前年度の90%で算定するよう指示があった。新型コロナウイルス感染症については先が読めず、早く収束する可能性も考えられたが、実際には4月以降は昨年度より悪い状況でスタートをした。

(城戸委員)

小学校の施設管理運営費について、要求は6校分であるが、殿田小学校からの要求はなかったのか。

(事務局)

当初予算額から9月分までの実績を差し引き、残りの予算でどれだけ足りなやかを確認した。殿田小学校は不足分がないため、計上していない。

[採決]

議案第31号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程4 その他

(1) 教育総務課から報告

南丹市スポーツ・文化賞表彰式について

京都府教育功労者表彰について

全国市町村教育委員会協議会オンライン協議会について

(2) 学校訪問について

(前田委員)

コロナ禍で苦勞される中、出来ることを出来る範囲で一生懸命されている様子がよく分かった。地域学校協働活動は顔を合わせることができず、リモートや分散で実施されていた。緊急事態宣言後にできることも考えながら、地域道徳の取り組みも進められていた。こんな時だからこそ、地域とともにある学校の関係づくりが深まったのではないかと思う。子どもたちの教育面も大変であるが、人と人の繋がりができたことを評価したい。引き続き、活動を推進いただきたい。

(淵上委員)

学校運営協議会と地域との連携について、以前より工夫して各学校が取り組んでおられるのがよくわかった。子どもたちと地域が一体化して今後も活動をしていただきたい。

また、一人一台タブレットは、小学1年生から中学3年生までが状況に応じて使いこなしており、デジタル教科書など今までに考えられない授業が行われていることに感銘を受けた。実際に見ることができてよかった。子どもはどんどん理解していくが、今後、持ち帰る際に親が付いて行けないかもしれないので、親が見られる機会があればいいと思った。

(城戸委員)

地域道徳など、地域との関わりを工夫されており、積極的に地域の方と知恵を出し合って子ども達を育てようとする様子が伺えた。それに対して、子どもたちがどのように地域の方と接したり恩返ししていくのか、子どもたちに役割を持たせることが大切であると感じた。手紙を書いたり、花の種を地域の方に配るなど、自分たちも学校で出来ることにやりがいを持つことで、その気持ちがだんだん大きくなって、南丹市を支える力になると思う。いい取り組みをされていると感じた。

「お帰り放送」もいい取り組みだと思う。日頃関わりを持てていないと、子どもたちの声が騒音として認識される世の中になりつつあると思う。その中で子どもたちが地域の方と交わす挨拶や放送を通して、大人たちは、孫を迎えるような気持ちで地域の子どもたちを迎える気持ちになり、また子どもたちが育

っていくという意識を持って見守ってもらえると思うので、大切な取り組みをされていると感じた。

(高屋委員)

日吉町は児童数の減少に対して危機感を持っておられると感じた。今後、八木町や園部町の参考になるような取り組みを多くされており、地域と連携することの大切さを私たちも再確認する必要がある、またそのお手本になると感じた。

保育所も訪問させていただき、管轄は違うが訪問できたことはありがたいと思う。「保・幼」は子育て支援課の管轄になるが、「保・幼・小・中連携」が言われている中で、実際にどこまでできているのか実態として見えにくい。教育委員会として、保育所や幼稚園の様子も見られる取り組みはぜひ今後も続けていただきたい。今後機会があれば、園部管内やのぞみ園も見てみたい。

(午後 3 時 4 8 分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長